

授業科目 運動指導法実習20 (ダンス)

【担当教員名】 中島孝子	対象学年	2	対象学科	健康スポーツ
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

一口にダンスといっても実に様々なダンスがある。基本的姿勢や身体の使い方、踊り方も異なるが、ここではまずそれらの違いを体験し理解することを目標とする。極論すればダンスが好きになれるかどうかは、踊る喜びを体験できるかどうかにかかっている。この授業では様々なダンス体験を通して、一人一人が踊る喜びを味わうことも目標としたい。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

- 1、音楽に合わせてリズムカルに、かつダイナミックに動ける。
- 2、ダンスには様々なジャンルがあることを理解し、実際にそれらを踊ることによってその特徴を把握できる。
- 3、人と関わるダンスなどを通して、コミュニケーション手段としてもダンスは活用できることを理解できる。
- 4、自分を表現する手段としてもダンスは有効であることを理解できる。
- 5、自分の好きなジャンルのダンスを選択し、自分を表現することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション 基本の姿勢、基本のステップなど		課題提示の演習形式
2	リズムに合わせて踊ろう (1) リズムダンス、レクダンス		"
3	" (2) エアロビックダンス		"
4	" (3) チアダンス		"
5	" (4) ジャズダンス		"
6	" (5) ヒップホップ		"
7	人と関わるダンスを踊ろう (1) コミュニケーションダンス		"
8	" (2) 2人でペアダンス		"
9	" (3) コンタクトインプロビゼーション		"
10	自分を表現しよう (モダンダンス) (1) 好きな色をイメージして・・・		"
11	" (2) パンダの気持ち、〇〇の気持ち・・・		"
12	テーマを決めて踊ろう (コンテンポラリーダンス)		"
13	"		"
14	まとめ		"

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	なし			
参考書	なし			
その他の資料				

【評価方法】

出席重視。いわゆるペーパーテストは実施しない。技術の優劣よりも、授業への積極的な参加と生き生きと踊る姿勢で評価する。

【履修上の留意点】

ダンス初心者及びダンスは苦手という人でも大歓迎。ダンスは積み重ねが大事であるので、毎時間きちんと休まず出席すること。